

京 都 大 学

大学院工学研究科・工学部

概 要



平成 17 年度

目 次

	ページ
1 理 念	1
2 沿 革	2
3 組 織 図	3
4 大学院の専攻・学部の学科等	4
5 役 職 者 一 覧	5
6 職 員 数	6
7 学生数（大学院・学部）	7
8 入学状況（大学院・学部）	8
9 卒業・修了状況、学位授与者数	9
10 研究生、外国人留学生、招へい外国人学者等、部局間協定一覧	10～12
11 21世紀COEプロジェクト等	13
12 公開講座の開催状況	14
13 図 書 関 係	15
14 予算関係、建物面積	16

(表紙)

(Cクラスター建築系建物（桂キャンパス）)

工学研究科・工学部の理念

学問の本質は真理の探求である。

その中であって、工学は人類の生活に直接・間接に関与する学術分野を担うものであり、分野の性格上、地球社会の持続的な発展と文化の創造に対して大きな責任を負っている。

京都大学工学研究科・工学部は、上の認識のもとで、基礎研究を重視して自然環境と調和のとれた科学技術の発展を図るとともに、高度の専門能力と高い倫理性、ならびに豊かな教養と個性を兼ね備えた人材を育成する。

このような研究・教育を進めるにあたっては、地域社会との連携と国際交流の推進に留意しつつ、研究・教育組織の自治と個々人の人権を尊重して研究科・学部の運営を行い、社会的な説明責任に応えるべく可能な限りの努力をする。

(参考)

京都大学の基本理念

京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多角的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める。

研究

1. 京都大学は、研究の自由と自主を基礎に、高い倫理性を備えた研究活動により、世界的に卓越した知の創造を行う。
2. 京都大学は、総合大学として、基礎研究と応用研究、文科系と理科系の研究の多様な発展と統合をはかる。

教育

3. 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。
4. 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

社会との関係

5. 京都大学は、開かれた大学として、日本および地域の社会との連携を強めるとともに、自由と調和に基づく知を社会に伝える。
6. 京都大学は、世界に開かれた大学として、国際交流を深め、地球社会の調和ある共存に貢献する。

運営

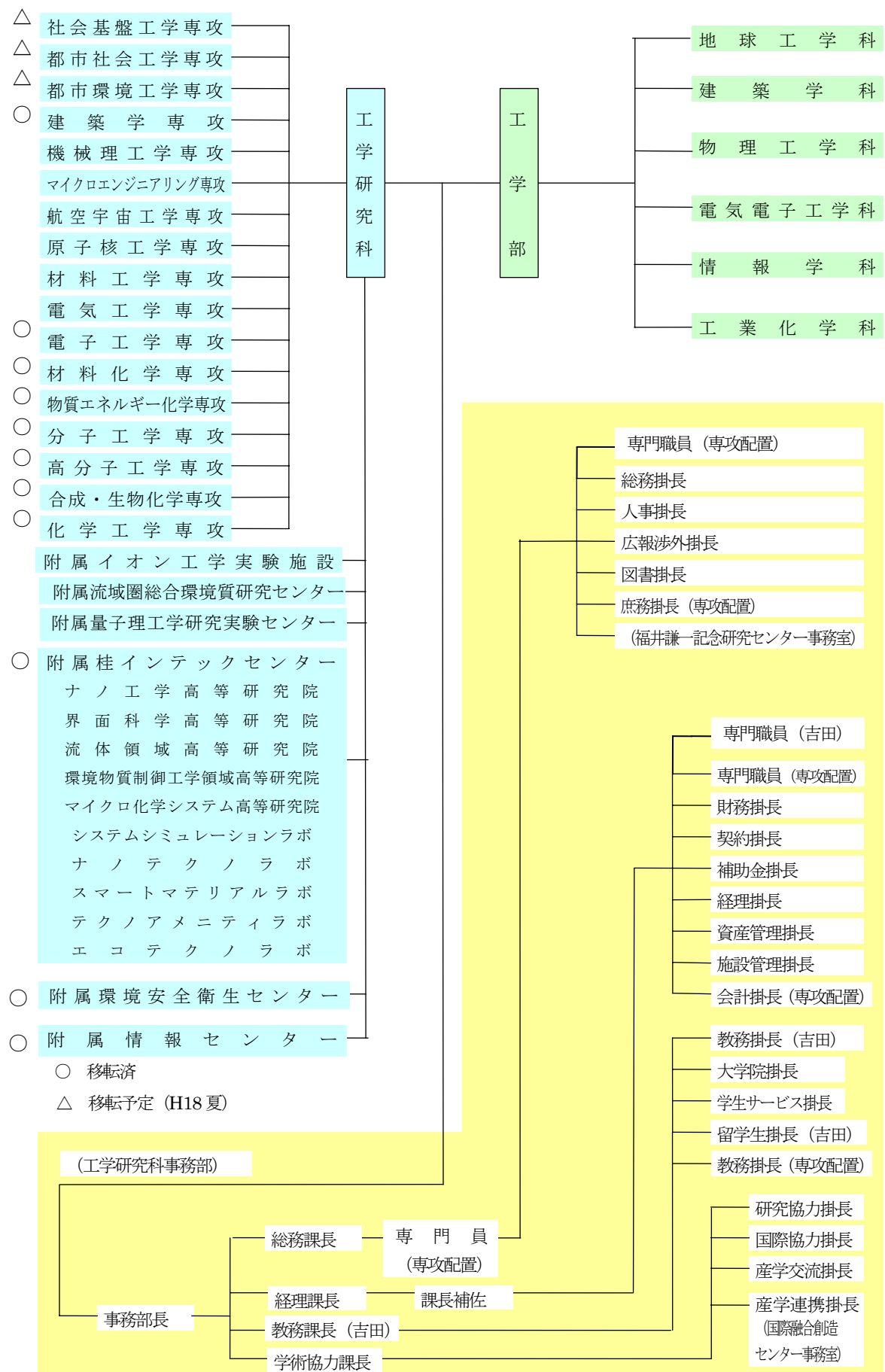
7. 京都大学は、学問の自由な発展に資するため、教育研究組織の自治を尊重するとともに、全学的な調和をめざす。
8. 京都大学は、環境に配慮し、人権を尊重した運営を行うとともに、社会的な説明責任に応える。

(平成 13 年 12 月 4 日制定)

沿 革

明治30.	6	京都帝国大学設置	7.	4	電気系及び情報系の改組
	9	理工科大学開設			学部の、電気工学科、電子工学科、電気工学第二学科の3学科を電気電子工学科に、数理工学科及び情報工学科の2学科を情報学科に、研究科の6専攻（電気工学、電子工学、電気工学第二、数理工学、情報工学、応用システム科学）を電気工学専攻、電子物性工学専攻、電子通信工学専攻、数理工学専攻、情報工学専攻、応用システム科学専攻に各々改組
		土木工学科、機械工学科設置			環境微量汚染制御実験施設を環境質制御研究センターに名称変更
大正31.	9	電気工学、採鉱冶金学、製造化学の3学科設置			
大正3.	7	理工科大学を理科大学と工科大学に分離			
	9	土木・機械・電気・採鉱冶金・工業化学科を設置			
	8.	2			
		工科大学は工学部となる			
	9.	8			
		建築学科設置			
昭和14.	3	燃料化学科設置			
	15.	4			
		化学機械学科設置			
	16.	3			
		繊維化学科設置	8.	4	土木系及び建築系の改組
	17.	3			学部の、土木工学科、衛生工学科、交通土木工学科、資源工学科の4学科を地球工学科に、建築学科及び建築学第二学科の2学科を建築学科に改組
		採鉱冶金学科を鉱山学科と冶金学科に分離、航空工学科設置			また、研究科の7専攻（土木工学、衛生工学、交通土木工学、資源工学、建築学、建築学第二、環境地球工学）を土木工学専攻、環境工学専攻、土木システム工学専攻、資源工学専攻、建築学専攻、生活空間学専攻、環境地球工学専攻に各々改組し、大学院重点化を完了
	21.	1			エネルギー科学研究科の新設に伴い、エネルギー応用工学専攻を廃止
	22.	9			附属重質炭素資源転換工学実験施設の廃止
	24.	5			
		新制京都大学設置	9.	4	高度情報実験施設は、総合情報メディアセンターへの統合により廃止
	28.	4			
		大学院工学研究科設置	10.	4	情報学研究科の新設に伴い、電子通信工学専攻、数理工学専攻、情報工学専攻及び応用システム科学専攻を廃止
	29.	4			附属イオン工学実験施設、附属メゾ材料研究センター及び附属環境質制御研究センターが、学部附属施設から研究科附属施設に転換
	30.	4			
		応用物理学科を航空工学科に改称	11.	4	附属量子理工学研究実験センター設置
	32.	4			
		大学院工学研究科原子核工学専攻設置	13.	4	附属桂インテックセンター設置
	33.	4			
		原子核工学科、衛生工学科設置	14.	3	附属メゾ材料研究センター廃止
	34.	4			
		オートメーション研究施設、数理工学科設置	4		附属情報センター設置
	35.	4			
		精密工学科、合成化学科設置	15.	4	地球系及び建築系の改組、並びに電気系の名称変更
	36.	4			研究科の5専攻（土木工学、土木システム、資源工学、環境工学、環境地球工学）を社会基盤工学、都市社会工学、都市環境工学の3専攻に改組
		電気工学第二学科、金属加工学科、電離層研究施設設置			また、生活空間学専攻を廃止し、電子物性工学専攻を電子工学専攻に名称変更
		繊維化学科を高分子化学科、化学機械学科を化学工学科に改組、改称	10		桂キャンパス開学
	37.	4			電気工学、電子工学、材料化学、物質エネルギー化学、分子工学、高分子工学、合成・生物化学、化学工学の8専攻及び附属イオン工学実験施設が、Aクラスターへ移転
	38.	4			
		機械工学第二学科設置	16.	4	附属環境安全衛生センター設置
	39.	4			
		交通土木工学科設置	10		事務部が桂キャンパスBクラスターへ、建築学専攻がCクラスターへ移転
	41.	4			
		建築学第二学科設置、鉱山学科を資源工学科に改称	17.	4	研究科の4専攻（機械工学、機械物理学、精密工学、航空宇宙工学）を機械理工学、マイクロエンジニアリング、航空宇宙工学の3専攻に改組
		超高温プラズマ研究施設設置			附属環境質制御研究センターを附属流域圏総合環境質研究センターに改組
		燃料化学科を石油化学科に改組、改称			
	45.	4			
		情報工学科設置			
	50.	4			
		機械工学第二学科を物理工学科に改組、改称			
	51.	5			
		超高温プラズマ研究施設が京都大学ヘリオトロン核融合研究センターとして発足			
	53.	4			
		イオン工学実験施設設置			
	56.	4			
		電離層研究施設が京都大学超高層電波研究センターとして発足			
	58.	4			
		分子工学専攻設置			
	60.	4			
		環境微量汚染制御実験施設設置			
	61.	4			
		重質炭素資源転換工学実験施設設置			
	62.	5			
		応用システム科学専攻設置			
平成元	5	オートメーション研究施設廃止、高度情報開発実験施設設置			
	3.	4			
		環境地球工学専攻設置			
	4.	4			
		メゾ材料研究センター設置			
	5.	4			
		化学系の改組			
		学部の5学科（工業化学、石油化学、化学工学、高分子化学、合成化学）を工業化学科に、研究科の5専攻（学科に同じ）と分子工学専攻を材料化学、物質エネルギー化学、分子工学、高分子化学、合成・生物化学、化学工学の6専攻に改組			
	6.	6			
		物理系の改組			
		学部の7学科（機械工学、冶金学、航空工学、原子核工学、精密工学、金属加工学、物理工学）を物理工学科に、研究科の7専攻（学科に同じ）を、機械工学、機械物理工学、精密工学、エネルギー応用工学、原子核工学、材料工学、航空宇宙工学の7専攻に改組			

組 織 図



大学院の専攻別講座等名

大学院	専 攻	講 座
工学研究科 17 専攻 80 講座 6 施設	社 会 基 盤 工 学 専 攻	応用力学, 地殻工学, 構造工学, 構造材料学, 地盤・水工学
	都 市 社 会 工 学 専 攻	都市基盤システム工学, 都市社会計画学, 交通マネジメント工学, ライフライン工学, 社会基盤マネジメント工学
	都 市 環 境 工 学 専 攻	地殻環境工学, 環境デザイン工学, 都市空間工学, 居住空間学, 環境情報学, ウォーターフロント環境工学, 複合構造デザイン工学, 環境システム工学, 環境衛生学, ジオフロント環境工学, 総合環境学, 環境材料学, 環境構成学
	建 築 学 専 攻	建築保全再生学, 人間生活環境学, 建築史学, 建築構法学, 建築環境計画学, 建築設計学, 建築構造学, 建築生産工学,
	機 械 理 工 学 専 攻	機械システム創成学, 生産システム工学, 機械材料力学, 流体理工学, 物性工学, 機械力学
	マイクロエレクトロニクス専攻	構造材料強度学, ナノシステム創成工学, ナノサイエンス, マイクロシステム創成
	航 空 宇 宙 工 学 専 攻	航空宇宙力学, 航空宇宙基礎工学, 航空宇宙システム工学
	原 子 核 工 学 専 攻	量子ビーム科学, 量子物質工学, 核エネルギー工学
	材 料 工 学 専 攻	材料設計工学, 材料プロセス工学, 材料物性学, 材料機能学
	電 気 工 学 専 攻	複合システム論, 電磁工学, 電気エネルギー工学, 電気システム論
	電 子 工 学 専 攻	集積機能工学, 電子物理工学, 電子物性工学, 量子機能工学
	材 料 化 学 専 攻	機能材料設計学, 無機材料化学, 有機材料化学, 高分子材料化学
	物質エネルギー化学専攻	エネルギー変換化学, 基礎エネルギー化学, 基礎物質化学, 触媒科学
	分 子 工 学 専 攻	分子設計学, 分子物性工学, 分子エネルギー工学, 物性物理化学
	高 分 子 化 学 専 攻	先端機能高分子, 高分子合成, 高分子物性
	合 成 ・ 生 物 化 学 専 攻	有機設計学, 合成化学, 生物化学
	化 学 工 学 専 攻	環境プロセス工学, 化学工学基礎, 化学システム工学
(附属教育研究施設等)	イオン工学実験施設 流域圏総合環境質研究センター 量子理工学研究実験センター 桂インテックセンター 情報センター 環境安全衛生センター	(昭和 53 年 4 月開設) (平成 17 年 4 月開設) (平成 11 年 4 月開設) (平成 13 年 4 月開設) (平成 14 年 4 月開設) (平成 16 年 4 月開設) 京都市西京区京都大学桂 大津市由美浜 1 の 2 宇治市五ヶ庄 京都市西京区京都大学桂 京都市西京区京都大学桂 京都市西京区京都大学桂

学部の学科別学科目名

学 部	学 科	学 科 目
工学部 6 学科 14 学科目	地 球 工 学 科	土木工学, 環境工学, 資源工学
	建 築 学 科	建築学
	物 理 工 学 科	機械システム学, 材料科学, エネルギー理工学, 宇宙基礎工学
	電 気 電 子 工 学 科	電気電子工学
	情 報 学 科	計算機科学, 数理工学
	工 業 化 学 科	創成化学, 工業基礎化学, 化学プロセス工学

平成 17 年度役職者一覧

工学研究科長・工学部長

副学長 荒 木 光 彦

副研究科長 (17. 10. 1~)

評議員 土 屋 和 雄
 評議員 西 本 清 一
 森 澤 眞 輔
 北 野 正 雄

専攻長

社会基盤工学専攻	田 村 武	電気工学専攻	小 林 哲 生
都市社会工学専攻	伊 藤 禎 彦	電子工学専攻	石 川 順 三
都市環境工学専攻	椎 葉 充 晴	材料化学専攻	平 尾 一 之
建築学専攻	門 内 輝 行	物質エネルギー化学専攻	大 江 浩 一
機械理工学専攻	久 保 愛 三	分子工学専攻	田 中 庸 裕
マイクロエンジニアリング専攻	田 畑 修	高分子化学専攻	吉 崎 武 尚
航空宇宙工学専攻	稲 室 隆 二	合成・生物化学専攻	杉野目 道 紀
原子核工学専攻	福 山 淳	化学工学専攻	田 門 肇
材料工学専攻	杉 村 博 之		

施設長

附属イオン工学実験施設	石 川 順 三	附属桂インテックセンター	渡 邊 史 夫
流域圏総合環境質研究センター	武 田 信 生	附属情報センター	北 野 正 雄
附属量子理工学研究実験センター	伊 藤 秋 男	附属環境安全衛生センター	大 寫 幸一郎

学科長

地球工学科	松 岡 譲	電気電子工学科	橘 邦 英
建築学科	高 田 光 雄	情報学科	藤 坂 博 一
物理工学科	芹 澤 昭 示	工業化学科	田 中 一 義

工学研究科事務部

事務部長	松 本 哲 夫	経理課長	増 地 公一
総務課長	中 山 久	課長補佐	仲 豊 廣
専門員	伊 藤 良 昭	教務課長	古 市 博
		学術協力課長	中 川 権 治

職員数

(教員)

(黒字：吉田地区等、赤字：桂地区) (平成 17. 10. 1 現在)

区 分	教 員				合 計
	教 授	助教授	講 師	助 手	
社 会 基 盤 工 学 専 攻	9	10	1	8	28
都 市 社 会 工 学 専 攻	8	9	1	10	28
都 市 環 境 工 学 専 攻	13(2)	14(2)	1	17	45(6)
建 築 学 専 攻	11	9	2	11	33
機 械 理 工 学 専 攻	11	9	3	10	33
マイクロエンジニアリング専攻	5	3	3	7	18
航 空 宇 宙 工 学 専 攻	7	4	2	6	19
原 子 核 工 学 専 攻	5	6	1	4	16
材 料 工 学 専 攻	10	8		10	28
電 気 工 学 専 攻	7	8	1	7	23
電 子 工 学 専 攻	6	5	5	10	26
材 料 化 学 専 攻	7	6		8	21
物質エネルギー化学専攻	7	5	1	8	21
分 子 工 学 専 攻	5(1)	2(1)		6(1)	13(3)
高 分 子 化 学 専 攻	6	6		10	22
合 成 ・ 生 物 化 学 専 攻	9	7		12	28
化 学 工 学 専 攻	8	7	2	9	26
附属イオン工学実験施設	1		1		2
附属流域圏総合環境質研究センター	2	1	1	1	5
附属量子理工学研究実験センター	1	2		1	4
附属桂インテックセンター	[1]			[1]	[2]
附 属 情 報 セ ン タ ー	[1]	[1]	[1]		[3]
附属環境安全衛生センター	[1]		[1]		[2]
合 計	138(67+71)(3)[3]	121(55+66)(3)[1]	25(12+13)[2]	155(81+74)(3)[1]	439(215+224)(9)[7]

注1：表中の()内は大学院地球環境学堂との流動教員であって外数。

注2：表中の[]内は兼務教員であって外数。

(職員)

(黒字：吉田地区、赤字：桂地区) (平成 17. 10. 1 現在)

区 分	事務職員	技術職員	合 計
社 会 基 盤 工 学 専 攻	15	1	22
都 市 社 会 工 学 専 攻		2	
都 市 環 境 工 学 専 攻		4	
地 球 工 学 専 攻			
建 築 学 専 攻	5	3	8
建 築 学 科	2		2
機 械 理 工 学 専 攻	16	4	29
マイクロエンジニアリング専攻		1	
航 空 宇 宙 工 学 専 攻			
原 子 核 工 学 専 攻		1	
材 料 工 学 専 攻		7	
物 理 工 学 専 攻	19		28
電 気 工 学 専 攻			
電 子 工 学 専 攻			
材 料 化 学 専 攻		1	
物質エネルギー化学専攻		3	
分 子 工 学 専 攻		1	
高 分 子 化 学 専 攻			
合 成 ・ 生 物 化 学 専 攻		4	
化 学 工 学 専 攻	3		3
電 気 電 子 工 学 専 攻			
電 子 工 学 専 攻			
材 料 化 学 専 攻			
電 気 電 子 工 学 専 攻	5		5
工 業 化 学 専 攻		2	2
情 報 工 学 専 攻		3	3
附 属 情 報 セ ン タ ー		3	3
附 属 環 境 安 全 衛 生 セ ン タ ー			
(国 際 融 合 創 造 セ ン タ ー)	1		1
事 務 室	63(54+9)	5(4+1)	68(58+10)
合 計	129(79+50)	45(22+23)	174(101+73)

学 生 数

1. 大学院

(黒字：吉田地区、赤字：桂地区) (平成17. 4. 1現在)

専 攻	区 分	修 士 課 程		博 士 後 期 課 程			合 計
		1年次	2年次	1年次	2年次	3年次	
社 会 基 盤 工 学		48	44	10 (6)	10 (5)	8	120 (11)
都 市 社 会 工 学		52	49	14 (8)	16 (3)	5	136 (11)
都 市 環 境 工 学		86	104	24 (11)	32 (11)	11	257 (22)
土 木 工 学		—	—	—	—	7 (7)	7 (7)
土 木 シ ス テ ム 工 学		—	—	—	—	7 (6)	7 (6)
環 境 工 学		—	—	—	—	4 (3)	4 (3)
環 境 地 球 工 学		—	2	—	—	17 (5)	19 (5)
建 築 学		60	53	10 (3)	11 (4)	24 (4)	158 (11)
生 活 空 間 学		—	2	—	—	5 (1)	7 (1)
機 械 理 工 学		62	—	7	—	—	69
マイクロエンジニアリング		27	—	4	—	—	31
航 空 宇 宙 工 学		27	18	2 (1)	4	2 (1)	53 (2)
原 子 核 工 学		21	22	13 (2)	1	4 (1)	61 (3)
材 料 工 学		39	33	5 (1)	7 (1)	11	95 (2)
機 械 工 学		—	33	1 (1)	8 (1)	8 (2)	50 (4)
機 械 物 理 工 学		—	24	3 (3)	4 (1)	—	31 (4)
精 密 工 学		—	25	2 (2)	4 (1)	2 (1)	33 (4)
電 気 工 学		34	31	4	6	3	78
電 子 工 学		34	34	8 (2)	7 (2)	6	89 (4)
電 子 物 性 工 学		—	1	—	—	4 (1)	5 (1)
材 料 化 学		30	27	11 (1)	10 (2)	7	85 (3)
物 質 エ ネ ル ギ ー 化 学		36	34	10	10	15 (3)	105 (3)
分 子 工 学		34	35	7	2	5	83
高 分 子 化 学		46	45	11 (2)	16 (3)	18 (2)	136 (7)
合 成 ・ 生 物 化 学		30	29	15 (1)	15 (3)	13	102 (4)
化 学 工 学		27	29	6 (2)	6 (3)	2 (1)	70 (6)
合 計		693	674	167 (46)	169 (40)	188 (38)	1,891 (124)
		331	320	82 (11)	83 (17)	102 (12)	918 (40)

注：表中の () 内は10月入学者で内数。

2. 学 部

(平成17. 4. 1現在)

学 科	区 分	1年次	2年次	3年次	4年次	合 計
地 球 工 学		186	182	180	232	780
建 築 学		84	83	86	111	364
物 理 工 学		237	240	244	323	1,044
電 気 電 子 工 学		139	135	146	193	613
情 報 学		92	94	95	143	424
工 業 化 学		238	232	229	335	1,034
合 計		976	966	980	1,337	4,259

平成 17 年度入学状況

1. 大学院

修 士 課 程											
専 攻	入学 定員	入学志願者			専 攻	入学 定員	入学者				
		男	女	計			男	女	計		
社会基盤工学	29	48(2)	5	53(2)	社会基盤工学	29	45(2)	3	48(2)		
都市社会工学	31	55(5)	2(1)	57(6)	都市社会工学	31	50(5)	2(1)	52(6)		
都市環境工学	77	85(1)	18	103(1)	都市環境工学	77	75(1)	11	86(1)		
建 築 学	34	71(3)	18(2)	89(5)	建 築 学	34	48(2)	12(2)	60(4)		
機 械 工 学	21	123(7)	9(1)	132(8)	機 械 理 工 学	38	58(4)	4	62(4)		
機械物理学	19				マイクロエンジニアリング	17	26(2)	1(1)	27(3)		
精密工学	15				航空宇宙工学	17	26	1	27		
航空宇宙工学	17	25	2	27							
原子核工学	19	29(1)		29(1)	原子核工学	19	21(1)		21(1)		
材 料 工 学	22	50	2	52	材 料 工 学	22	37	2	39		
電 気 工 学	21	82(3)	2	84(3)	電 気 工 学	21	32(2)	2	34(2)		
電 子 工 学	21				電 子 工 学	21	34		34		
材 料 化 学	19	207(3)	21(4)	228(7)	材 料 化 学	19	27(2)	3	30(2)		
物質エネルギー化学	23				物質エネルギー化学	23	34	2	36		
分 子 工 学	27				分 子 工 学	27	33	1	34		
高 分 子 化 学	31				高 分 子 化 学	31	39(1)	7(2)	46(3)		
合成・生物化学	21				合成・生物化学	21	29	1	30		
化 学 工 学	19	27(2)	1	28(2)	化 学 工 学	19	26(2)	1	27(2)		
合 計	466	802(27)	80(8)	882(35)	合 計	466	640(24)	53(6)	693(30)		

() は外国人留学生で外数。

博 士 後 期 課 程											
専 攻	入学 定員	入学志願者			専 攻	入学 定員	入学者				
		男	女	計			男	女	計		
社会基盤工学	14	4 [1] (2)		4 [1] (2)	社会基盤工学	14	4 [1] (2)		4 [1] (2)		
都市社会工学	15	5 [2]	2 (2)	7 [2] (2)	都市社会工学	15	5 [2]	1 (1)	6 [2] (1)		
都市環境工学	28	11 [2] (3)	3 (1)	14 [2] (4)	都市環境工学	28	10 [2] (3)	3 (1)	13 [2] (4)		
建 築 学	16	6 [1] (2)	2	8 [1] (2)	建 築 学	16	5 [1] (2)	2	7 [1] (2)		
機 械 工 学	10	5		5	機 械 理 工 学	18	7 (2)		7 (2)		
機械物理学	9	5 [1]	1 (1)	6 [1] (1)	マイクロエンジニアリング	8	3 [1]	1 (1)	4 [1] (1)		
精密工学	7	2 (2)		2 (2)	航空宇宙工学	8	1		1		
航空宇宙工学	8	1		1							
原子核工学	9	11 [1] (1)		11 [1] (1)	原子核工学	9	11 [1] (1)		11 [1] (1)		
材 料 工 学	10	4		4	材 料 工 学	10	4		4		
電 気 工 学	10	3	1 (1)	4 (1)	電 気 工 学	10	3	1 (1)	4 (1)		
電 子 工 学	10	6 [1]		6 [1]	電 子 工 学	10	6 [1]		6 [1]		
材 料 化 学	9	8 (1)	4	12 (1)	材 料 化 学	9	8 (1)	2	10 (1)		
物質エネルギー化学	11	9 [2]	1	10 [2]	物質エネルギー化学	11	9 [2]	1	10 [2]		
分 子 工 学	12	7	2	9	分 子 工 学	12	6	1	7		
高 分 子 化 学	15	9 [1]	1 (1)	10 [1] (1)	高 分 子 化 学	15	8 [1]	1 (1)	9 [1] (1)		
合成・生物化学	10	12	2	14	合成・生物化学	10	12	2	14		
化 学 工 学	9	4 [2]		4 [2]	化 学 工 学	9	4 [2]		4 [2]		
合 計	212	112 [14] (11)	19 (6)	131 [14] (17)	合 計	212	106 [14] (11)	15 (5)	121 [14] (16)		

注：[] は社会人特別選抜で内数、() は外国人留学生で外数。

2. 学 部

学 科	入学定員	入学志願者			入学者		
		男	女	計	男	女	計
地 球 工 学	185	539 (1)	39 (1)	578 (2)	172 (1)	14	186 (1)
建 築 学	80	290 (3)	73	363 (3)	69 (3)	15	84 (3)
物 理 工 学	235	702 (4)	32 (1)	734 (5)	229 (2)	8 (1)	237 (3)
電 気 電 子 工 学	130	425 (9)	11 (1)	436 (10)	132 (6)	7 (1)	139 (7)
情 報 学	90	246 (3)	11 (2)	257 (5)	86 (1)	6 (1)	92 (2)
工 業 化 学	235	658 (1)	63 (3)	721 (4)	223 (1)	15 (1)	238 (2)
合 計	955	2,860 (21)	229 (8)	3,089 (29)	911 (14)	65 (4)	976 (18)

注：表中の () 内は外国人留学生で内数。

卒業・修了状況及び学位授与者数

1. 大学院修了者数（専攻別）

区 分 専 攻	修士課程		博士後期課程
	平成16年度	累計	平成17年4月1日現在 研究指導認定修了者累計
社会基盤工学	44	44	
都市社会工学	41	41	
都市環境工学	73	73	
土 木 工 学	1	1,996	139
交通土木工学		598	14
土木システム工学	3	240	23
資 源 工 学	3	681	40
衛 生 工 学		620	54
環 境 工 学	3	205	8
環境地球工学	2	500	25
建 築 学	51	1,278	125
建築学第二		514	51
生活空間学	3	159	15
機 械 工 学	28	1,122	74
物 理 工 学		462	37
機械物理工学	26	189	5
精 密 工 学	19	835	55
原子核工学	18	865	128
冶 金 学		634	47
金属加工学		567	43
材 料 工 学	31	328	7
エネルギー応用工学		57	2
航 空 工 学		388	32
航空宇宙工学	18	146	3
電 気 工 学	27	988	89
電 子 工 学	33	849	76
電子物性工学	1	227	12
電気工学第二		730	67
電子通信工学		110	2
数 理 工 学		785	84
情 報 工 学		508	44
応用システム科学		342	10
工 業 化 学		1,263	212
材 料 化 学	28	282	13
石 油 化 学		758	137
物質エネルギー化学	34	371	14
分 子 工 学	29	533	39
高 分 子 化 学	35	1,377	247
合 成 化 学		582	152
合成・生物化学	29	316	35
化 学 工 学	27	1,066	98
合 計	607	23,629	2,258

2. 博士学位授与者数

(平成17. 4. 1現在)

区 分		工学博士
旧制	大正9年6月以前の学位令によるもの	42 (28)
	大正9年7月以降の学位令によるもの	1,338
新制	大学院博士課程修了者	2,548
	論文提出によるもの	3,860
合 計		7,788 (28)

注：表中の（ ）内は推薦によるもので内数。

3. 学部卒業生数（学科別）

年 度 学 科	昭和27年度～ 平成15年度	平成16年度	累計
土 木 工 学	3,222		3,222
機 械 工 学	2,122		2,122
電 気 工 学	2,112		2,112
鉱 山 学	357		357
資 源 工 学	1,073		1,073
冶 金 学	1,532		1,532
工 業 化 学	2,125		2,125
建 築 学	2,207		2,207
燃 料 化 学	443		443
石 油 化 学	1,296		1,296
化学機械学	295		295
化 学 工 学	1,244		1,244
高 分 子 化 学	1,225		1,225
繊 維 化 学	250		250
応 用 物 理 学	116		116
電 子 工 学	1,606		1,606
航 空 工 学	810		810
原 子 核 工 学	714		714
衛 生 工 学	1,390		1,390
数 理 工 学	1,448		1,448
精 密 工 学	1,379		1,379
合 成 化 学	1,259		1,259
電気工学第二	1,447		1,447
金 属 加 工 学	1,220		1,220
機械工学第二	505		505
交通土木工学	1,284		1,284
建 築 学 第 二	1,149		1,149
情 報 工 学	1,037		1,037
物 理 工 学	480		480
（新）工業化学	1,762	219	1,981
（新）物理工学	1,657	224	1,881
電気電子工学	768	126	894
情 報 学	502	109	611
地 球 工 学	953	194	1,147
（新）建築学	426	92	518
合 計	41,415	964	42,379

研究生、外国人留学生、招へい外国人学者及び部局間協定一覧

1. 研究生等受入れ状況

(平成17. 4. 1現在)

専攻・学科	区 分	研究生	研修員	特別聴講 学生	特別研究 学生	合計
社会基盤工学		1 (1)		(1)		(2)
都市社会工学		1 (1)			1	4 (1)
都市環境工学		4 (2)	3			5 (2)
建 築 学		11 (4)	3		1 (1)	20 (5)
機 械 工 学					1 (1)	4 (1)
機械物理工学		1				1
マイクロエンジニアリング			1			
精 密 工 学					1	1
原子核工学						
材 料 工 学					(1)	(1)
航空宇宙工学						2
電 気 工 学			1		2	2
電 子 工 学		1 (1)				2 (1)
材 料 化 学						3
物質エネルギー化学		3 (3)	1		(2)	2 (5)
分 子 工 学						1
高 分 子 化 学		2 (2)	1		2	8 (2)
合成・生物化学			4			2
化 学 工 学		2 (2)				2 (2)
地 球 工 学 科				1		1
建 築 学 科				(2)		(2)
物 理 工 学 科				(2)		(2)
電気電子工学科						
情 報 学 科				1 (3)		1 (3)
工 業 化 学 科				(1)		(1)
合 計		26 (16)	14	2 (9)	8 (5)	61 (30)

注1:表中の()内は、外国人で内数。

注2:研修員は受託研究員を含む。

2. 外国人留学生国別一覧

(平成17. 4. 1現在)

地域・国名等	区 分	学部	大学院		合計
			修士課程	博士後期課程	
アジア州 (18)					
バングラデシュ				3	3
中 国	51	12	34		97
香 港			1		1
インドネシア		1	8		9
イ ラ ン			2		2
イスラエル			1		1
韓 国	16	12	24		52
マレーシア	1	2	1		4
モンゴル			2		2
ネパール			4		4
パキスタン			2		2
フィリピン			1		1
スリランカ	1		2		3
台 湾	1	3	5		9
タ イ	1	6	12		19
トルコ			1		1
ベトナム	10	1	6		17
イ ン ド			1		1
大洋州 (1)					
オーストラリア			1		1
アフリカ州 (4)					
エジプト			2		2
ケニア		2			2
モロッコ			1		1
タンザニア			1		1
ヨーロッパ州 (10)					
キプロス		1			1
ブルガリア			1		1
ベルギー			1		1
フランス		1	2		3
ドイツ			3		3
ポーランド		1	1		2
セルビア・モンテネグロ			1		1
オランダ			1		1
ルーマニア			2		2
スウェーデン			1		1
南アメリカ州 (3)					
ブラジル			1		1
コロンビア		1	1		2
ペルー		1	1		2
計 (36)	81	44	131		256

3. 外国人研究留学生等受入状況 (平成17.4.1現在)

区分 地域・国名等	研究生	特別聴講 学生	特別研究 学生	合計
アジア州 (4)				
中 国	7			7
韓 国	5	4	1	10
インドネシア	1			1
台 湾	1			1
ヨーロッパ州 (6)				
ギリシヤ	1			1
フランス		1		1
ドイツ		1		1
スペイン			1	1
オランダ		1		1
スイス			1	1
NIS諸国 (1)				
ロシア	1			1
北アメリカ州 (2)				
カナダ		2	1	3
アメリカ合衆国			1	1
計 (16)	16	9	5	30

4. 招へい外国人学者等受入者数 (平成16年度)

区分 地域・国名等	招へい 外国人学者	外国人 共同研究者	外国人 研究員	合計
アジア州 (12)				
中 国	9	5		14
インド		5	1	6
バングラデシュ	1			1
インドネシア	2			2
イスラエル	1			1
韓 国	2	3		5
マレーシア	1			1
シンガポール		1		1
ネパール		1		1
台 湾	1	1		2
タ イ	2	2		4
日 本	1			1
アフリカ州 (3)				
アルジェリア		1		1
エジプトアラブ共和国			1	1
ス ー ダ ン		1		1
ヨーロッパ州 (8)				
チ エ コ	2			2
フ ラ ン ス	2	3		5
ド イ ツ	3	5	1	9
ベルギー	1	2		3
イ タ リ ア	1	1		2
ス ペ イ ン		1		1
スウェーデン		1	1	2
連 合 王 国	3	1		4
NIS諸国 (1)				
ロ シ ア	3			3
北アメリカ州 (2)				
カ ナ ダ	2			2
アメリカ合衆国	6	7		13
オセアニア (1)				
オーストラリア	1	1		2
計 (27)	44	42	4	90

5. 部局間学術交流協定締結大学

(平成 17. 4. 1 現在)

	機 関 名	締結年月日
中 国	中国科学技術大学	1997. 1. 1 2003. 8. 7 (更新)
	* 上海交通大学	1999. 1. 1 2003. 9. 4 (更新)
	香港科学技術大学工学研究科、理学研究科	2001. 9. 1
	大連理工大学	2003. 7. 3
韓 国	浦項科学技術大学	1997. 1. 1
	* 韓国高等科学技術院 工学研究科	1997. 1. 1 2002. 6. 5 (更新)
マレーシア	マラヤ大学	2002. 7. 12
シンガポール	ナンヤン工科大学	2001. 1. 22
タイ	* チュラロンコン大学工学部	1992. 6. 15 2001. 3. 15 (3研究科拡大)
ヨーロッパ州 (8)		
チエコ	チェコ工科大学ブラハ校工学部	1992. 7. 1 1996. 4. 3 (更新)
フランス	* グルノーブル工科大学	1991. 11. 18 1999. 6. 23 (更新) 2004. 2. 10 (再更新)
	ピエール・マリイ・キュリー大学 (パリ第6大学)	1992. 11. 10 1997. 12. 26 (更新)
ドイツ	エアランゲン・ニュルンベルク大学工学部	2002. 2. 1
	* デュッセルドルフ Heinrich Heine 大学	2002. 5. 17
	* ドルトムント大学	2002. 12. 18
	* カイザースラウテルン大学	2002. 12. 20
	* ミュンヘン工科大学	2003. 2. 13
	* カールスルーエ大学	2004. 3. 22
	フライブルク大学マイクロシステム工学部・工学研究科 (アメリカ合衆国・ミシガン大学を含めた3大学間協定)	2004. 10. 30
オランダ	* デルフト工科大学	1998. 1. 1 2003. 2. 17 (更新)
ノルウェー	* ノルウェー科学技術大学 (元トロンハイム大学ノルウェー工科大学)	1990. 9. 1 1996. 4. 1 (更新) 2003. 3. 17 (再更新)
スペイン	* バレンシア工科大学	2001. 7. 1
スウェーデン	ストックホルム王立工科大学	2002. 2. 1
	* チャルマーシュ工科大学	2002. 12. 19
連合王国	バーミンガム大学工学研究科等	2003. 12. 5
北アメリカ州 (1)		
アメリカ合衆国	* ウィスコンシン大学マディソン校工学部	1990. 8. 1
	ワシントン大学工学部	1991. 10. 15
	テキサス大学オースティン校工学部	1991. 12. 1
	* レンスラー工科大学工学部	1995. 1. 1
	フロリダ大学教養学部・教養学研究科	2004. 4. 26
	ミシガン大学工学部・工学研究科 (ドイツ・フライブルク大学を含めた3大学間協定)	2004. 10. 30
南アメリカ州 (1)		
ブラジル	サンパウロ大学工学部・工学研究科	2004. 6. 16
15カ国	32大学	

21世紀COEプロジェクト

- ・京都大学化学連携研究教育拠点 (拠点リーダー：齋藤 軍治 教授)
- ・学際統合による新材料科学の研究教育拠点 (拠点リーダー：小久見善八 教授)
- ・電気電子基盤技術の研究教育拠点形成 (拠点リーダー：荒木 光彦 教授)
- ・動的機能機械システムの数理モデルと設計論 (拠点リーダー：土屋 和雄 教授)

新工学教育プログラム

- ・特色ある大学教育支援プログラム「コアリッションによる工学教育の相乗的改革」に協力

現代的教育ニーズ取組支援プログラム

- ・国際連携による地球・環境科学教育
ーアジア地域の大学との同時進行型連携講義の構築と実践ー

特色ある大学教育支援プログラム

- ・相互研修型FDの組織化による教育改善

魅力ある大学院教育（イニシアティブ）

- ・化学教育トリニティー

寄附講座

- ・日中環境技術研究講座

日本学術振興会（JSPS）アジア諸国との交流事業 拠点大学交流

- ・マレーシア（マラヤ大学）環境科学
地域総合管理概念に基づくゼロディスチャージ・ゼロミッション社会の構築
- ・中国（清華大学）都市環境
都市環境の管理と制御

科学技術振興調整費「振興分野人材養成プログラム」

- ・京都大学計算材料研究者養成ユニット（平成14年度～）
- ・ナノメディシン融合教育ユニット（平成17年度～）

工学部公開講座

平成17年度 私たちの暮らしを支える工学	電力システムと超伝導応用 (大澤 靖 治) 身近なところにあるナノテクノロジー (平 尾 一 之) 未知の地震と住まいの安全 ―究極の耐震設計とは― (竹 脇 出) 小さな機械が創る大きな機会 ―マイクロマシンの世界― (田 畑 修)
平成16年度 身の回りのハイテク	ロボットと人間 ― 機構, 技能, そして心へ ― (吉 川 恒 夫) 微生物の多様な能力を人間社会に活かそう (今 中 忠 行) 知っているようで知らないポリマーの話 (中 條 善 樹) リズムとカオス (藤 坂 博 一)
平成15年度 人間―誕生、生活、そして未来	医学・生物学と工学・情報学の融合 (松 田 哲 也) 環境と都市・交通 (青 山 吉 隆) 持続的な都市と建築をめざして ― 環境とエネルギー ― (吉 田 治 典) 宇宙工学への招待 (土 屋 和 雄)
平成14年度 人と環境にやさしい工学をめざして	集中から分散へ ― 21世紀の電源のあり方 ― (垣 本 直 人) 人間と風景 ― 日本の伝統的な絵画や庭から学ぶこと ― (岡 崎 甚 幸) 聖徳太子コンピュータをめざして ― 混合音の認識 ― (奥 乃 博) 環境と化学 (大 畠 幸一郎)
平成13年度 21世紀の暮らしと科学技術 ― ナノテクノロジーと 地震工学 ―	究極のモノづくり ― ナノテクノロジーによる新材料創成 ― (平 尾 一 之) 新しい光ナノデバイス ― 究極の光の制御を目指して ― (野 田 進) (施設見学) ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 地震火災から文化財を守ろう ― もう時間がない ― (土 岐 憲 三) 地震に弱い建物をなくすために (井 上 一 朗) ― 阪神大震災のときの鋼構建造物の被害とその後の対策 ― (施設見学) 土木百周年記念資料室

図書関係

蔵書統計

(平成17. 4. 1現在)

	図書室名等	図書(冊数)			雑誌(タイトル数)		
		和書	洋書	合計	和書	洋書	合計
1	共通図書室(共通・化学系)	569	14,795	15,364	149	495	644
2	地球系図書室	16,120	38,653	54,773	369	356	725
3	建築系図書室	59,502	32,566	92,068	245	218	463
4	物理系図書室	12,913	41,034	53,947	279	720	999
5	航空宇宙工学図書室	5,217	13,934	19,151	68	183	251
6	電気系図書室	16,601	23,845	40,446	382	399	781
7	化学系図書室	7,271	21,708	28,979	48	320	368
	合計	118,193	186,535	304,728	1,540	2,691	4,231

予算関係及び建物面積

1. 予算額

区 分	平成14年度 (千円)	平成15年度 (千円)	平成16年度 (千円)	備 考
人 件 費	—	—	6,894,785	
物 件 費	—	—	2,364,800	
受託研究費(受入額)	702,391	916,921	1,073,393	共同研究を含む
科学研究費補助金(受入額)	2,907,476	2,569,440	2,634,214	COEを含む
奨学寄附金(受入額)	420,266	434,392	490,972	

2. 建物面積

(平成17.4.1現在)

区 分	面 積 (㎡)
①本部地区	
工 学 部 9 号 館	452
工 学 部 4 号 館	2,074
岡 田 記 念 館	240
高 分 子 化 学 東 別 館	539
土 木 総 合 館	2,900
土木工学科研究室実験室	108
土 木 総 合 館 別 館	402
土木工学科教室研究室	1,946
土木工学地震観測室	24
工学部5号館地下別棟	158
工 学 部 5 号 館	9,921
工 学 部 3 号 館 A 棟	1,304
総合研究棟(工学部3号館北棟)	2,925
電 気 総 合 館	1,846
工 学 部 1 号 館	6,398
工 学 部 研 究 実 験 棟	1,206
R I 研 究 実 験 棟	2,776
物 理 系 校 舎	18,233
工 学 部 6 号 館	6,197
工 学 部 6 号 新 館	617
工 学 部 2 号 館	8,891
石 油 化 学 研 究 室	175
建 築 学 科 製 図 室	252
建 築 学 教 室 本 館	1,615
工 学 部 7 号 館	2,363
工 学 部 坂 記 念 館	784
工 学 部 8 号 館	3,373
情報工学科研究室実験室	5,438
航空工学科研究室実験室	3,957
工 学 部 3 号 館 南 棟	599
工 学 部 3 号 館 西 棟	1,062
工 学 部 総 合 校 舎	4,389
そ の 他	555
小 計	93,719

区 分	面 積 (㎡)
②桂地区	
A ク ラ ス タ ー A 1 棟	11,631
A ク ラ ス タ ー A 2 棟	9,409
A ク ラ ス タ ー A 3 棟	8,451
A ク ラ ス タ ー A 4 棟	9,729
C ク ラ ス タ ー C 2 棟	8,738
極 低 温 セ ン タ ー	365
実 験 排 水 処 理 施 設	120
E M セ ン タ ー 棟	2,809
桂インテックセンター棟	6,328
事 務 管 理 棟	4,695
C ク ラ ス タ ー 事 務 棟	295
小 計	62,570
③宇治・大津地区	
原 子 核 工 学 実 験 室	3,113
超空気力学実験装置室	670
航空工学科風洞実験室	662
総 合 研 究 実 験 棟	1,502
水 質 汚 染 制 御 実 験 室	789
附属流域圏総合環境質 研究センター研究室	296
そ の 他	192
小 計	7,224
合 計	163,513



GRADUATE SCHOOL OF ENGINEERING

FACULTY OF ENGINEERING

京都大学大学院工学研究科・工学部概要
平成 17 年度版

編集・発行：京都大学工学研究科総務課広報渉外掛

〒615-8530 京都市西京区京都大学桂

Tel. 075-383-2010

<http://www.kogaku.kyoto-u.ac.jp/>

平成 17 年 11 月発行